

General Session

開発ツールを使った エンタープライズ アジャイル

日本マイクロソフト

Visual Studio

エグゼクティブ プロダクト マネージャー

相澤 克弘

本日のコンテンツ

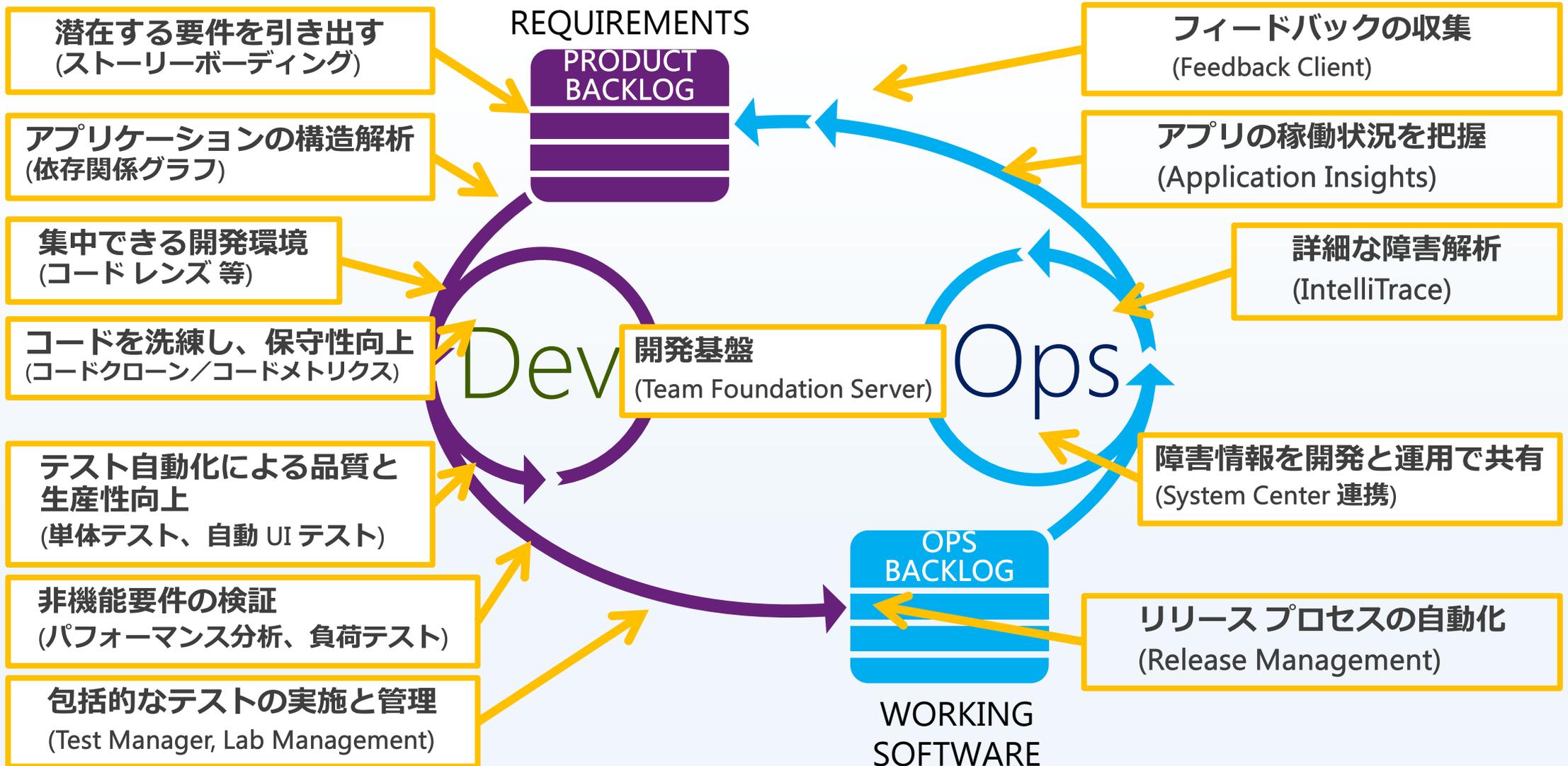
Visual Studio の進化
はアプリ開発の
アーキテクチャーに
おける検討ポイント

事業ポートフォリオ
の概念を取り込んだ
Team Foundation
Server は規模の大小
をカバー

Visual Studio は単一
ツールで最もカバ
レッジの広い ALM

Visual Studio の進化

Visual Studio の DevOps



Our vision

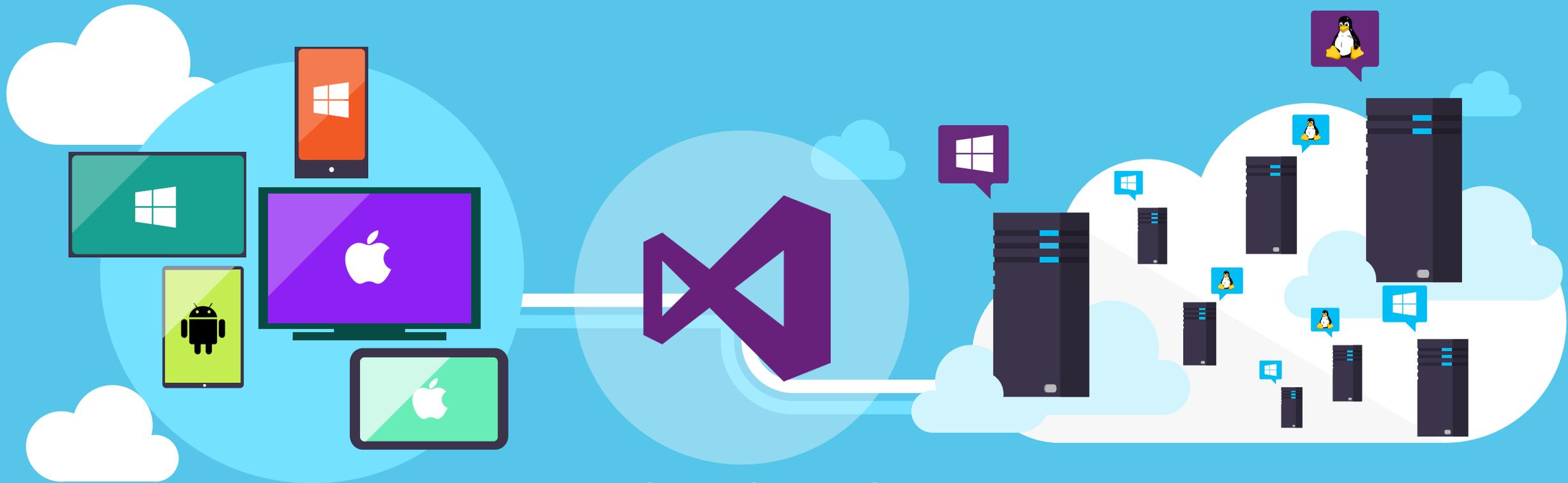
Every App



Every Developer



Every App



Visual Studio Online
Visual Studio
.NET

11/12 開発系イベント Connect (); での発表内容

- 弊社 エグゼクティブ がプレゼンターとなり今の時代に最適な開発スタイルとともに以下の新たな製品やテクノロジーを発表



以下で当日セッションのビデオ見れます
(英語)

<http://aka.ms/connect>

.NET Core のオープンソース化と
クロスプラットフォーム開発の強化

Visual Studio 2015 Preview 発表

.NET 2015 Preview 発表

Visual Studio Community 2013 リリース

Visual Studio 2013 Update 4 リリース

MSDN Subscription の特典強化

モバイルアプリ、クラウドアプリ、
全ての開発を Visual Studio で



Visual Studio 2015 Preview



Visual Studio 2015 Preview の新機能

- オープン化やクロスプラットフォーム開発やコア革新等で開発の生産性を向上

ASP.NET 5

オープンソースとクロスプラットフォームに対応した新しい ASP.NET ランタイムとライブラリ

.NET Core 5

モジュラー化された新しい .NET スタック

Roslyn

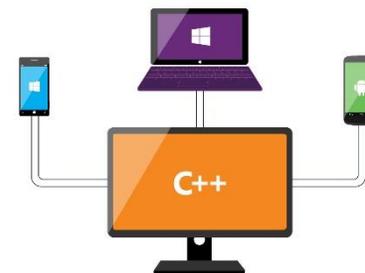
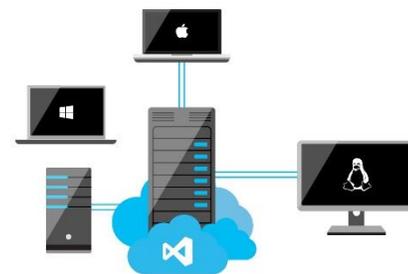
様々なニーズに対応する API を提供するオープンソース化された新しいコンパイラ

C++

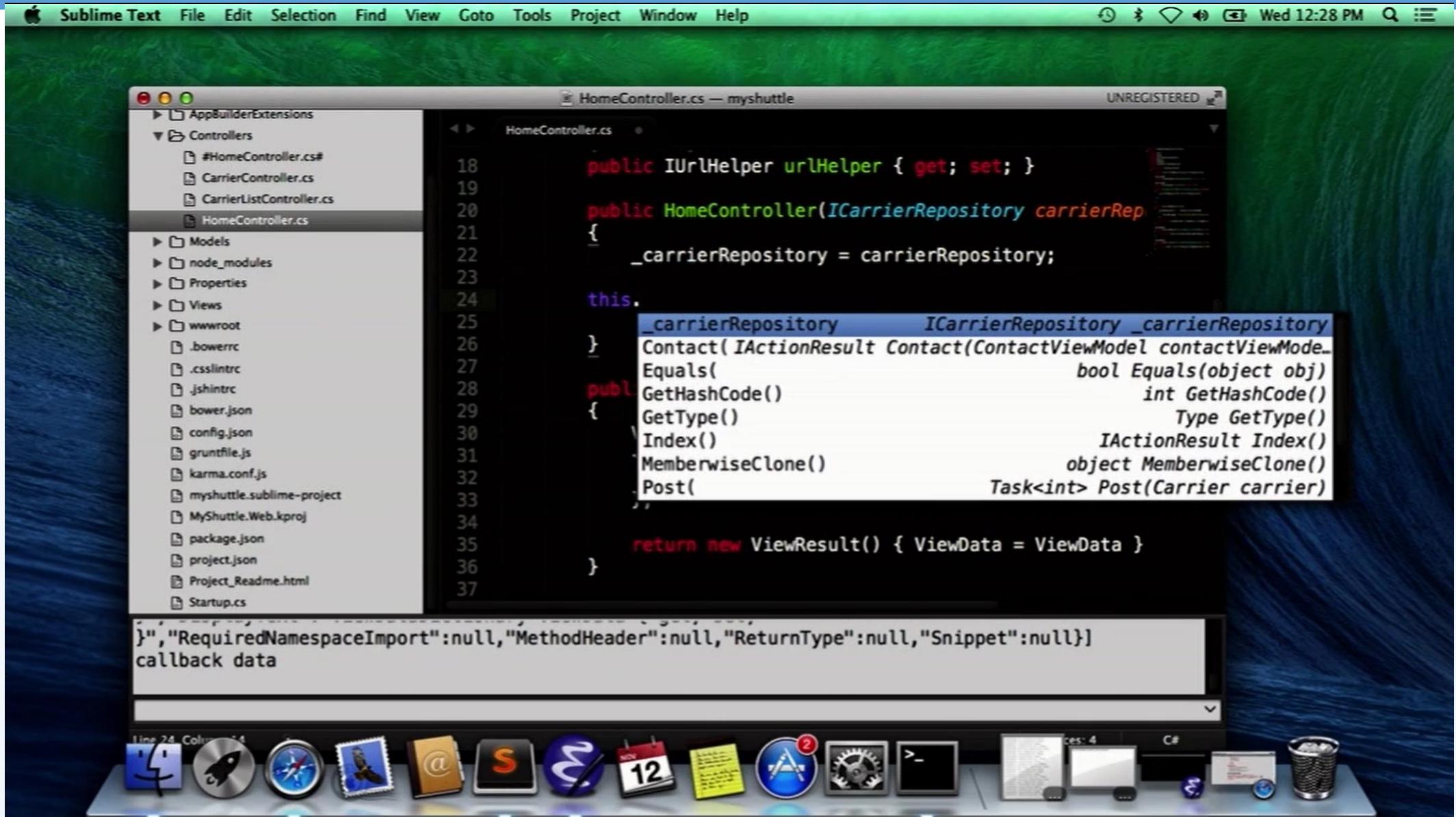
マルチプラットフォーム対応
最新の C++ の最新規格 (C++11/C++14) に準拠

IDE

各種機能強化 ; リファクタリング、タッチ対応、カスタムレイアウト、ハイレゾアイコン、デバッグ

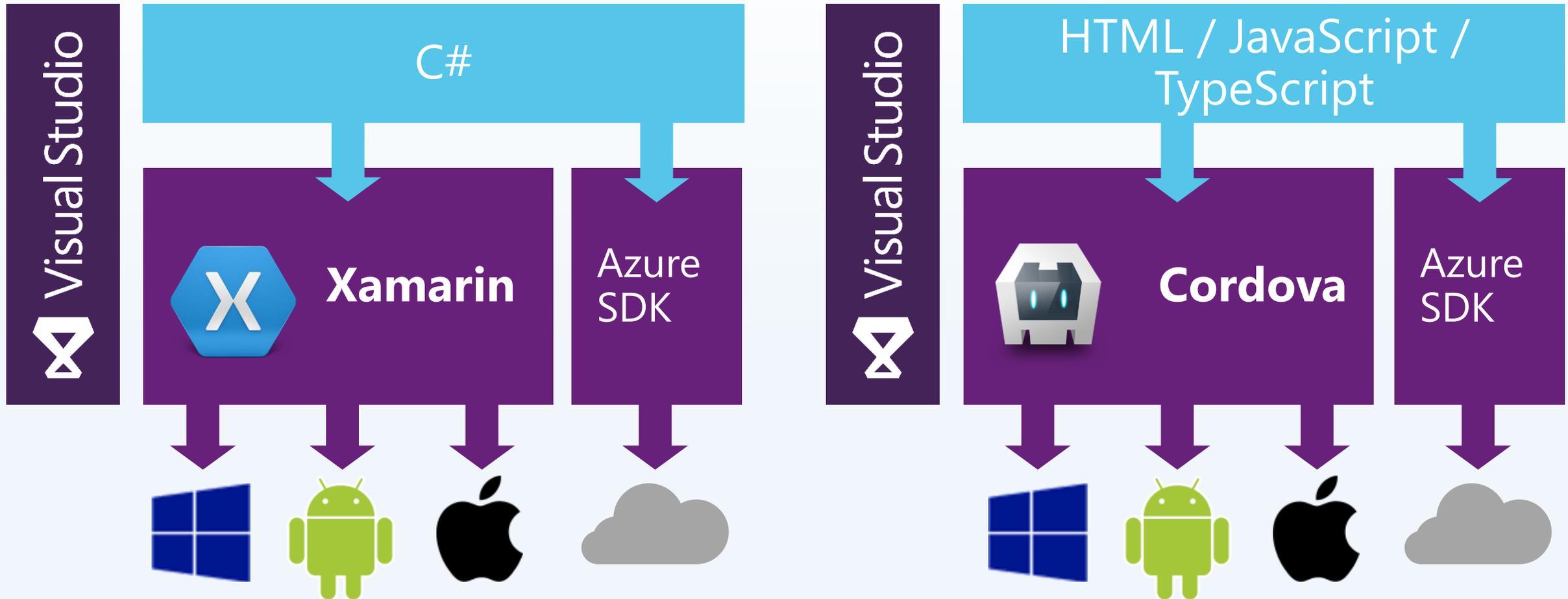


Mono のテクノロジーにより Mac 上で Sublime Text を使って C# で IntelliSense を使って ASP.NET を開発



Visual Studio のモバイル アプリ開発

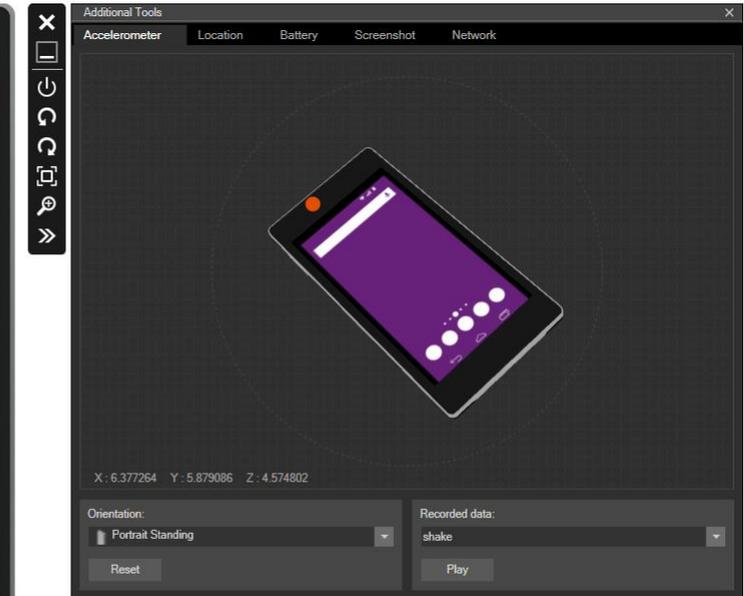
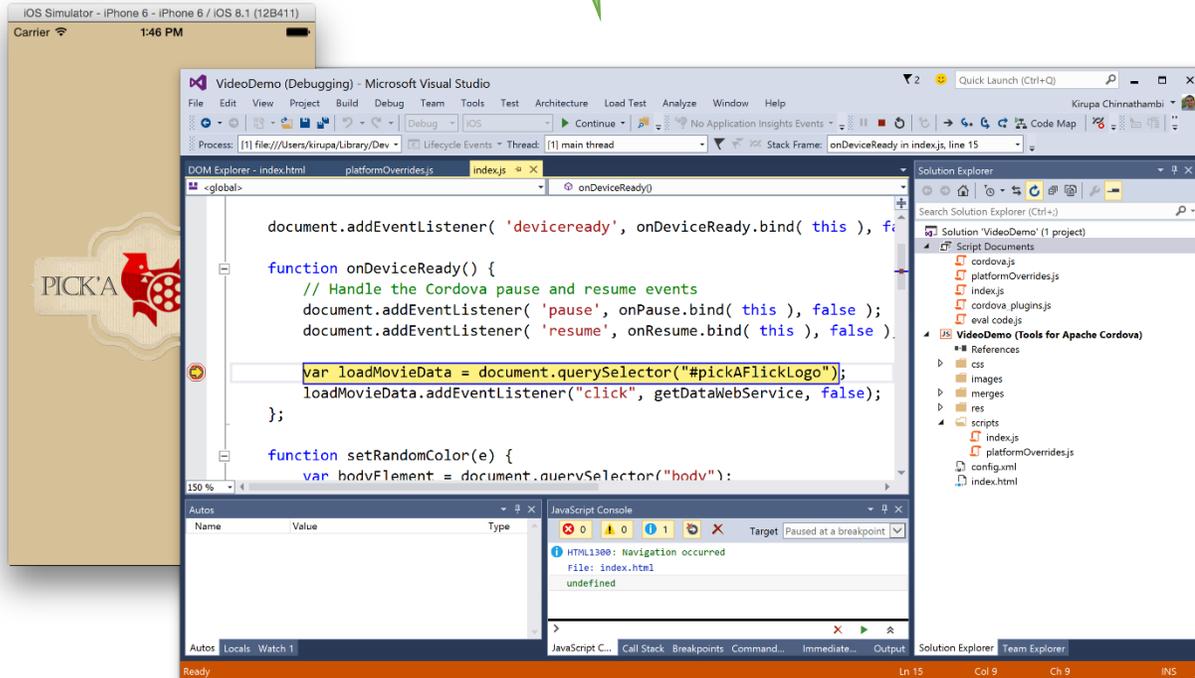
- VS Gallery から C# であれば Xamarin を、HTML であれば Cordova を組み込みクロスプラットフォームでアプリをエンド トウ エンドで開発可能



Visual Studio でのクロスプラットフォーム開発例

Apache Cordova

Visual Studio Emulator for Android



今の Visual Studio のアプリ開発

- モバイル アプリもクラウド アプリも Visual Studio ですべて開発



クラウド



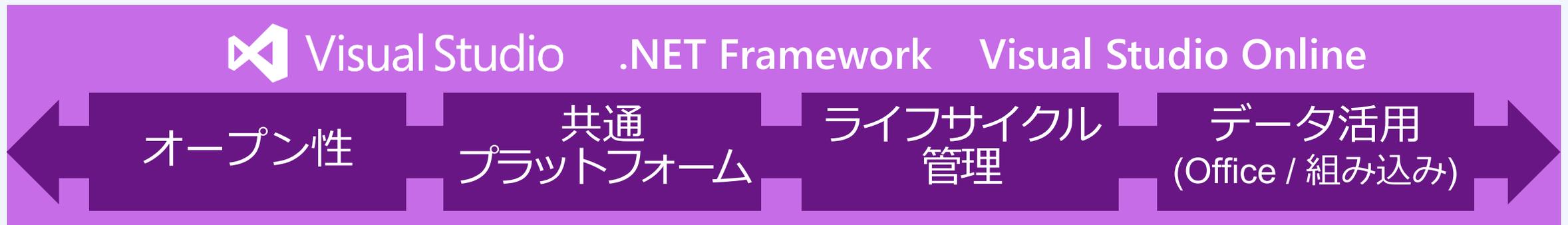
モバイル



社内システム
(オンプレミス)



Microsoft Azure



Visual Studio .NET Framework Visual Studio Online

← オープン性 共通プラットフォーム ライフサイクル管理 データ活用 (Office / 組み込み) →

エンタープライズ アジヤイル への適応

エンタープライズ アジャイルの課題

事業戦略と開発の方向性の一致

- アジャイル開発は高頻度で時間経過に従ってアップデートをかけていくものの、大きな事業戦略の優先順位と合致させるのが難しい

アジャイル開発は大人数の開発には不向き

- アジャイル開発は開発進行中にも要件を拾いタスク化して開発を進めていくため、比較的目的を通しやすい小規模チームに適しており大規模開発には不向き

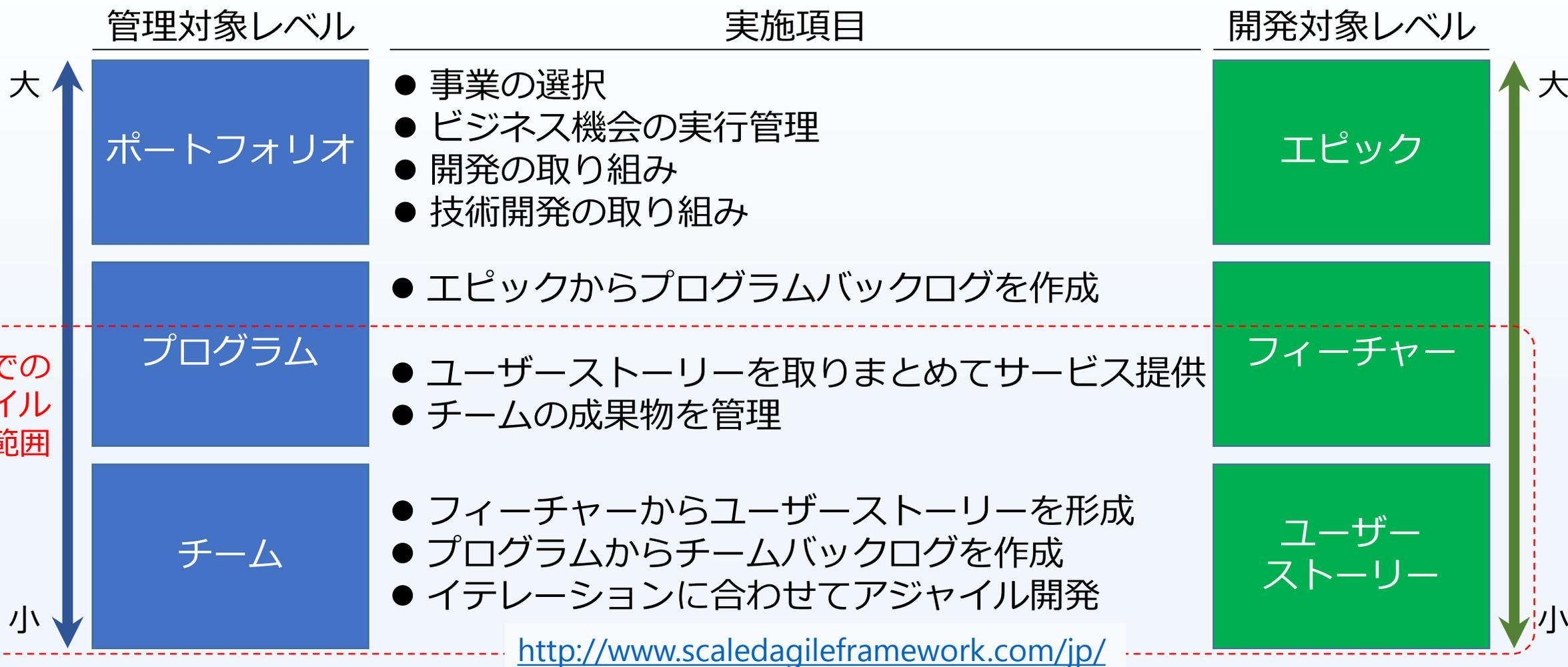
組織全体の役割の明確化

- アジャイル開発で高速に進むチームを誰がどのように実現したいビジネスと結びつけるべく管理するのか不明瞭

アジャイル開発のエンタープライズ対応

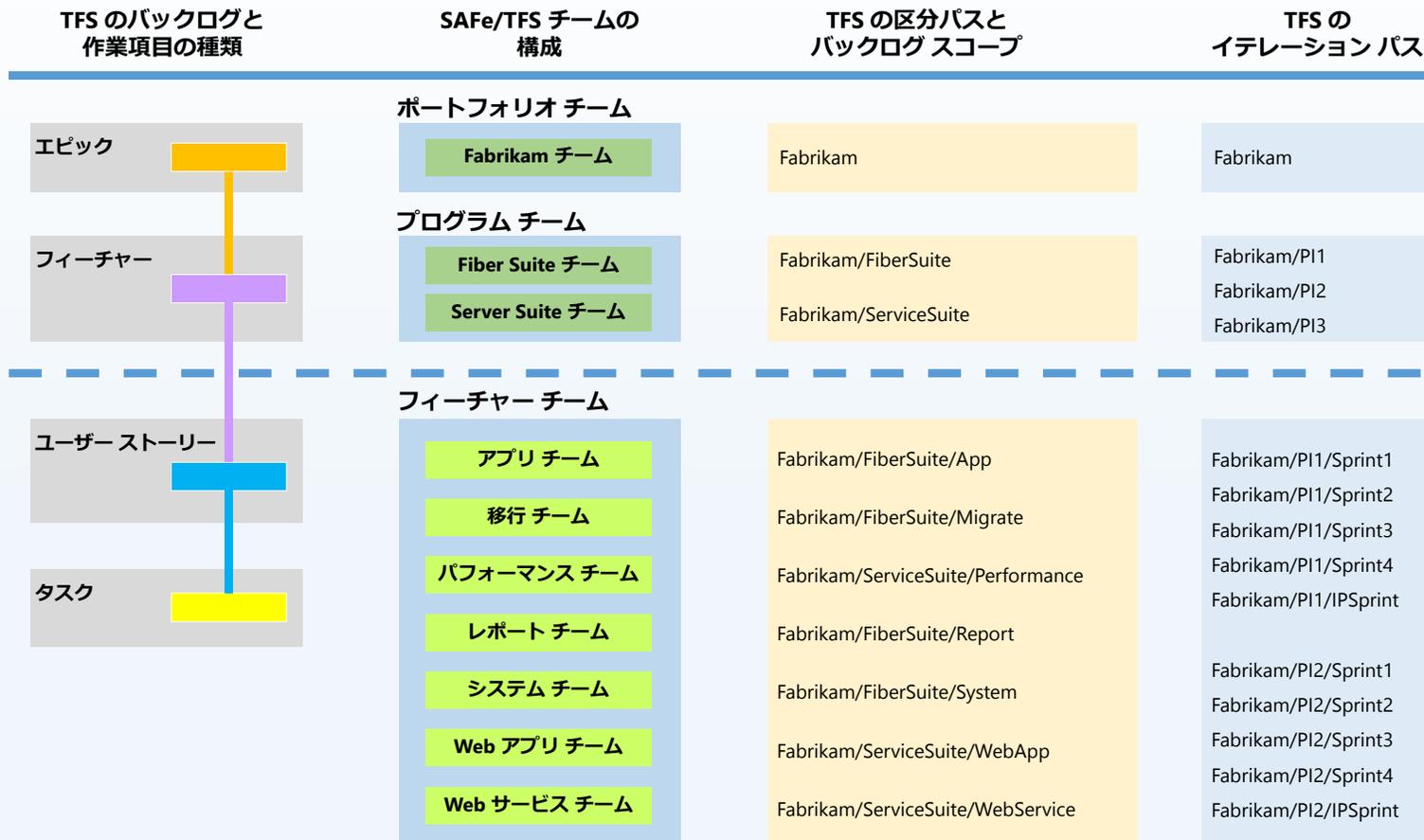
Scaled Agile Framework (SAFe) の例

- プログラム、チームレベルの活動に加えて、プログラムを上位レベルのポートフォリオレベルに紐づけし管理することで大規模アジャイルを展開



Team Foundation Server のエンタープライズ対応 SAFe 適用での例

- ビジネス機会の実現を示すエピックをフィーチャーとストーリーに因数分解し、この3つのレベルのチーム階層を構成させ各チームに対応する区分を設定イテレーションに割り当てることで Team Foundation Server に適用



TFS のテンプレート作成の
詳細はお手元の
「Scaled Agile Framework」
でご確認ください

エンタープライズ アジャイルの TFS での開発管理

- 開発対象の各レベルの状況を TFS のレポートで確認可能

エピックレベル

Fabrikam Epics

Backlog **Board**

Customize columns

Funnel	Review 2/5	Analysis 2/5	Portfolio Back
Windows update release	Framework to port applications to all devices Chuck Reinhart (Fabr...)	Shared Personalization and State Jia-hao Tseng (Fabrik...)	Improve User Experience Christie Church
Migrate legacy code to portable frameworks	Convert legacy OData service interfaces to the updated interfaces Jia-hao Tseng (Fabr...)	Counter the Heartbleed web security bug Christie Church (Fabr...)	

フィーチャーレベル

IP 3

133 of 258 h
Stories: 23 not started, 4 in progress

Pinned Items

Migrate 0 Recent changes	Product Planning 30 Work items
Triage Query 8 Work items	Active Bugs 42 Work items

Active Bugs - Trend

ストーリーレベル

Migrate Team's Active Bugs

Results Editor **Charts**

+ New chart ↻

Active Bugs by Priority - Chart

Priority	Count
1	22
2	8
3	8
Total	38

Active Bugs Trend by Priority

Active Bugs

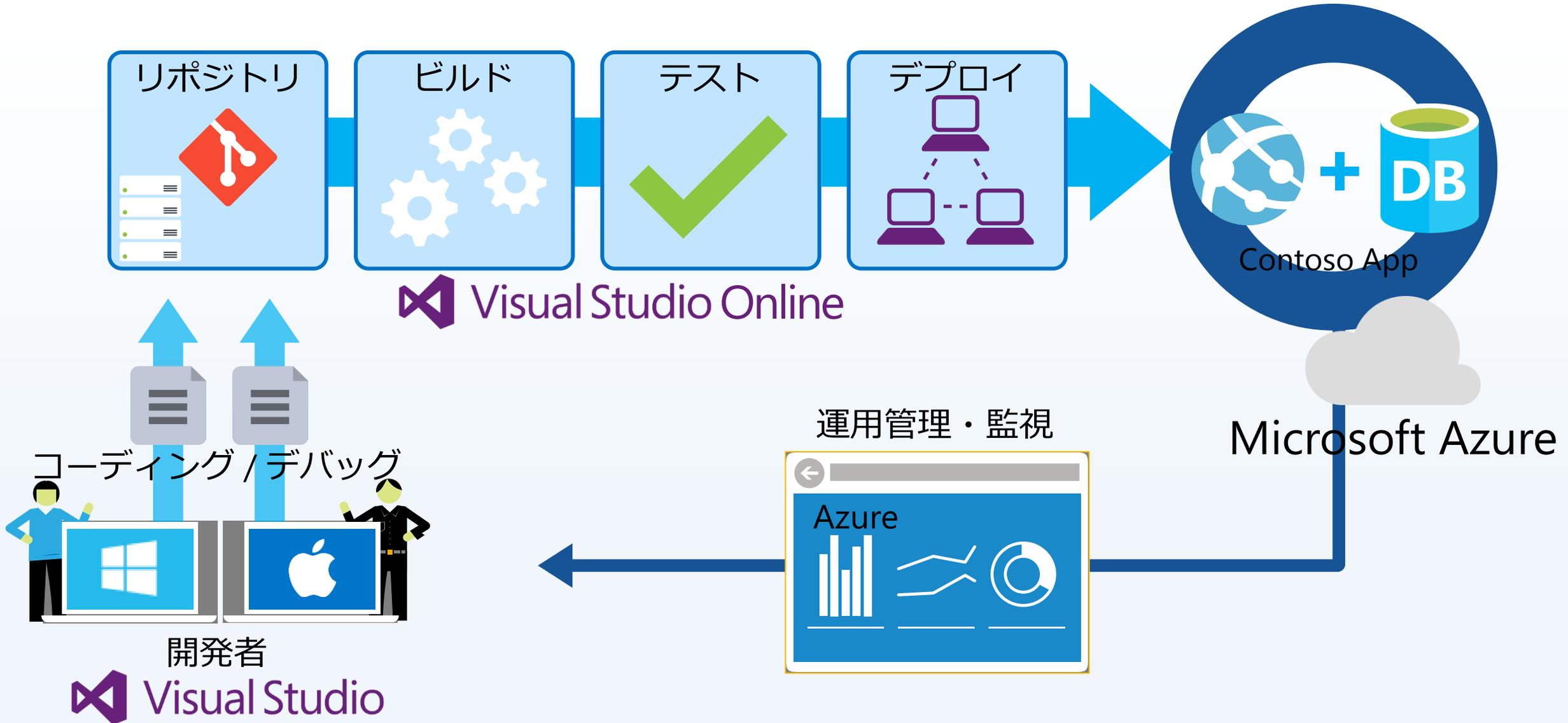
Sprint	Priority 2	Priority 3	Priority 1
Sprint 1	7	5	2
Sprint 2	6	3	3
Sprint 3	8	1	0
(blank)	1	2	0

Active Bugs Triage - Chart

	(blank)	Approved	Investigate	Rejected	Total
0	1	0	0	0	1
1	5	5	0	0	10
2	2	10	10	0	22
3	3	3	1	0	7
Total	2	19	18	1	40

Visual Studio の ALM まとめ

Visual Studio の ALM (& Azure)



成功事例

日本郵政スタッフ様

開発・テスト環境に Visual Studio Online を活用。
開発環境を **3日で立ち上げ**。ハードウェアコストを **1/10**に。

ビービーシステム様

テストの自動化に Visual Studio を利用。2か月を要していた**変更開発からリリースが2-3日で完了**。
工数も **30%** に削減。

ソフトバンク・テクノロジー様

頻繁なデプロイに Release Management を活用。
工数を約 **1/20** に削減し品質を向上

導入事例サイト

<http://www.microsoft.com/ja-jp/casestudies>

Visual Studio + Azure + MSDN で開発をリード

- 効率の良い開発は Visual Studio + Azure で実現し、MSDN Subscription はその前提条件となる環境構築を進めるファウンデーション



Visual Studio

Visual Studio Online

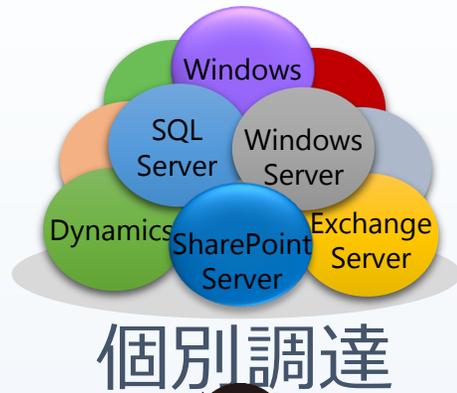
Microsoft Azure

msdn subscriptions

MSDN Subscription

- 無償アップデートと大きな特典がついた開発、テスト、検証に利用できるとっても便利なキット

MS 製品の調達コスト削減



一括調達



1 すぐダウンロード可

2 旧バージョン入手

3 複数 PC 利用

MSDN 特典

4 テクニカルサポート

5 技術トレーニング受講

6 Visual Studio Online

7 Azure 無償利用枠

まとめ

- ✓ Team Foundation Server はエンタープライズアジャイルを実践可能
- ✓ Visual Studio の適用範囲は広がり、単一ツールでエンドトゥエンドの開発が可能

